

科目ナンバー	ART-1-002-j			科目名	絵画		
教員名	本多 正直			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	この授業は、絵を描くことを中心に「表現すること」を主体として進めていく授業である。創造的表現には、デッサン、水彩画、油彩画、彫刻等様々なものがある。その制作過程においては、技術的な要素も必要だが、それ以上に大切なのは1人1人の感性である。ワクワクしながら描いた作品からは、不思議と楽しさが伝わるものだ。技術的に優れた作品とは違い『良い絵』は誰にでも描ける可能性がある。絵を描くのが好きな人はもちろん、苦手に感じている人でも積極性を持って制作に集中することで『良い作品』が生まれることを体験する。						
到達目標	この授業では、『良い作品』を制作することを目標におきたい。描く技術を身につけ楽しさを再確認できるように、制作をすすめていく。もちろん、小学校において児童とともに絵を描く場合に、どのような指導が児童にとって「楽しく描ける」きっかけとなり、『良い作品』を描くことができるようになるのか、についても考えながら、それを自ら体感することで、将来の指導に生かせるようにすることもこの授業の大きなねらいである。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	○
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル	○
教授法及び課題のフィードバック方法	作品制作を中心とした演習を主体に進めていく。自ら考え、表現技術や指導方法を身につけるアクティブラーニングで授業を進める。制作後は講評会で振り返りを行い次の課題に向けての助言を行う。学生個々のレベルに合わせて指導しながら、それぞれの独自の表現を尊重したい。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修		○	
受講条件 前提科目	絵を描くことに興味のある学生、図画工作を教える立場を目指す学生に向いている。						
アセスメントポリシー及び評価方法	課題ごとに作品を提出してもらい、制作姿勢とあわせ総合的に評価する。取り組み姿勢50％、課題作品内容50％ 特に「共愛12の力」の分析し試行する力、構想し実行する力、実践的スキルを評価の対象にする。						
教材	キャンバス代、木炭紙代が約1000円が必要。カルトン、鉛筆、食パン、木炭、ガーゼ、木炭紙、画材(水彩もしくは油彩)、キャンバスF8号、画用紙等						
参考図書	各々のテーマに沿って必要に応じて提示する。						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	オリエンテーション 制作についての説明 準備する用具等の説明						
授業外学修内容	静物デッサンのモチーフを考え、次回の授業に用意する。					時間数	1
2週目							
授業学修内容	鉛筆デッサン 静物モチーフを描く 描き方の説明 作品制作						
授業外学修内容	鉛筆デッサンの描き方を復習する。					時間数	1
3週目							
授業学修内容	鉛筆デッサン 静物モチーフを描く 作品制作						
授業外学修内容	鉛筆デッサンの描き方を復習し、制作を進める。					時間数	1
4週目							
授業学修内容	鉛筆デッサン 静物モチーフを描く 作品制作 鑑賞 提出鑑賞 作品発表を行う。講評会						
授業外学修内容	鉛筆デッサンの内容をまとめておく。					時間数	1
5週目							
授業学修内容	木炭デッサン 石膏像デッサン 描き方の説明 作品制作 食パン、ガーゼを準備する。						

授業外学修内容	木炭デッサンの描き方を復習する。	時間数	1
6週目			
授業学修内容	木炭デッサン 木炭による石膏像のデッサン 作品制作食パン、ガーゼを準備する。		
授業外学修内容	鉛筆デッサンの描き方を復習し、制作を進める。	時間数	1
7週目			
授業学修内容	木炭デッサン 木炭による石膏像のデッサン 作品制作食パン、ガーゼを準備する。		
授業外学修内容	鉛筆デッサンの描き方を復習し、制作を進める。	時間数	1
8週目			
授業学修内容	木炭デッサン 木炭による石膏像のデッサン 作品制作 鑑賞 提出食パン、ガーゼを準備する。次回のモチーフを考え、用意が必要なモチーフに関しては各自準備する。		
授業外学修内容	鉛筆デッサンの描き方や内容をまとめる。	時間数	1
9週目			
授業学修内容	油彩画および水彩画による作品制作 自画像、モチーフ、風景、自由画から選択油彩画の描き方、画材の説明		
授業外学修内容	油彩画および水彩画のモチーフを決める。	時間数	1
10週目			
授業学修内容	油彩画および水彩画による作品制作 自画像、モチーフ、風景、自由画から選択		
授業外学修内容	油彩画および水彩画の制作を進める。	時間数	1
11週目			
授業学修内容	油彩画および水彩画による作品制作 自画像、モチーフ、風景、自由画から選択		
授業外学修内容	油彩画および水彩画の制作を進める。	時間数	1
12週目			
授業学修内容	油彩画および水彩画による作品制作 自画像、モチーフ、風景、自由画から選択		
授業外学修内容	油彩画および水彩画の制作を進める。	時間数	1
13週目			
授業学修内容	油彩画および水彩画による作品制作 自画像、モチーフ、風景、自由画から選択		
授業外学修内容	油彩画および水彩画の制作を進める。	時間数	1
14週目			
授業学修内容	油彩画および水彩画による作品制作 自画像、モチーフ、風景、自由画から選択 提出		
授業外学修内容	油彩画および水彩画の制作を完成させる。	時間数	1
15週目			
授業学修内容	油彩画および水彩画による作品制作 作品発表 講評会 まとめ		
授業外学修内容	絵画のまとめをする。	時間数	1
上記の授業外学修時間の合計		15	
その他に必要な自習時間		75	

Number	ART-1-002-j	Subject	Drawing		
Name	本多 正直 (Honda Masanao)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2

Course outline	<p>This lesson is a lesson focusing on painting and promoting "expressing" as the subject. Creative expressions include various things such as drawings, watercolors, oil paintings, sculptures and the like. Technical elements are also necessary in the production process, but more important than that is the sensitivity of each one. Works drawn while thrilling excitedly convey wonder and joy. Unlike technically superior works, there is a possibility that anyone can draw "good paintings". Of course people who like to draw pictures, as well as those who are not good at it, experience positive things by creating a "good work" by concentrating on production with aggressiveness.</p>
----------------	---